

中村市長3期目スタート

テーマは「未来への新たな挑戦」

先の市長選挙におきまして、市民の皆様のご信任を賜り、引き続き八代の市政運営を担わせていただくことになりました。改めてその責任の重さを痛感し、大変身の引き締まる思いです。

私は、1期目の市長就任時から、一貫して「市政の安定化」、「熊本の副都心づくり」、そして「地域経済の浮揚」の3つを基本理念として、市政運営に取り組んでまいりました。

特に、2期目につきましては、「始動から加速へ」というスローガンを掲げ、1期目において、本市の未来の「礎」を築くために始動した多くの政策を加速させるべく、新たなアイデアや自由な発想を積極的に取り入れながら、スピード感を持って挑戦してきました。その結果、市民の皆様のご理解とご協力のもとより、国や県をはじめたくさんの方々のお力添えもあり、その多くが実現し、形となって見えてきております。

一方で、喫緊の課題であります新型コロナウイルス感染症への対応や、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興については、国や県と緊密に連携しながら、職員一丸となってスピード感を持って進めていかなければなりません。

さらには、今後ますます激しくなる自治体間の競争を勝ち抜くためには、これまでの地方創生実現に向けた歩みを止めることなく、社会全体の潮流であ

る自治体のデジタル化をはじめとする新たな取り組みなどにも、積極的にチャレンジしていくことが重要であると考えております。

私が3期目に向けて掲げたテーマは「未来への新たな挑戦」です。

本市の更なる飛躍を目指すため、「坂本町の創造的復興」、「スマートシティの推進」、「地域経済の更なる浮揚」という3つの基本理念を新たに掲げました。

最優先課題であります坂本町の創造的復興については、被災された皆様のご意見、ご要望を丁寧に伺いながら取り組みを加速させてまいります。また、社会全体の動きに乗り遅れることなく、デジタルを活用することで、便利で魅力あるまちづくりを進め、将来にわたり持続可能で誰からも選ばれるスマート

シティやつしろを目指してまいります。さらに、国・県との連携を強化し、アフターコロナを見据えた各分野における新たな取り組みを積極的に創出・推進し、八代地域経済のさらなる浮揚を目指します。

これら3つの基本理念の実現に向けた歩みを着実に進めるために、5つの基本政策を掲げ、喫緊の課題であります新型コロナウイルス感染症への対応も加えて、「大好きな八代」を未来につなげるべく、全力で取り組んでまいります。

今後、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

八代市長
中村 博生



八代市の創生に向けた3つの基本理念

- スマートシティの推進**
希望あふれる八代を創るため、デジタルを活用することで、便利で魅力あるまちづくりを進めます。
- 坂本町の創造的復興**
被災者の皆様に寄り添いながら、創造的復興に向けた取り組みを加速します。
- 地域経済の更なる浮揚**
国・県との連携強化を図りながら、アフターコロナを見据え、各分野における新たな取り組みを創出・推進し、八代地域経済の更なる浮揚を目指します。

八代市の未来を創る5つのビジョン(基本政策)

(主な重点事業を抜粋)

<p>稼げる農林水産業の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆デジタル化へチャレンジする人や企業を支援し「スマート農林水産業」を推進 ◆新たな特産品開発による「やつしろ産農水産物」の強化と加工・流通・販売を支援し「売れる商品づくり」を促進 ◆農林水産業の次世代を支える担い手を支援 ◆官民連携の全国プロモーション活動による八代産量表の需要拡大 	<p>次代を担う子どもの育成と安心な暮らしの創生</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆0～2歳児の保育料を完全無償化 ◆次代を担う子どもへの「出産祝い金」を創設 ◆タブレットPCの活用による「ICT教育日本一」を目指す ◆「学校トイレ洋式化」など快適な教育環境の整備 ◆「人生100年時代」における健康寿命の延伸と生きがいづくりの推進 	<p>災害に強い豊かな「まち」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆坂本町の創造的復興を加速化 ◆避難所となる学校体育館などへのエアコン設置と地域の「防災拠点施設」の整備 ◆「防災情報の伝達徹底」と「自主防災組織との連携強化」により逃げ遅れゼロを実現 ◆災害に強い道路ネットワークの整備により地域の防災力を向上
<p>新型コロナウイルス感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆感染拡大防止に関する周知・啓発と迅速な情報提供 ◆安全で円滑なワクチン接種の実施 ◆国・県と連携した市民生活や地域経済への影響の最小化 ◆コロナ禍における教育活動の円滑な推進 	<p>持続可能な選ばれるまち「スマートシティやつしろ」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆24時間いつでも、どこでも利用できる「デジタル市役所」を構築 ◆中心市街地を核としたワーケーション環境の整備により関係人口を創出 ◆「市政懇談会」などさまざまな手法を活用した「市政の見える化」のさらなる推進 	<p>地域の魅力とにぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新庁舎やお祭りでんでん館などを活用し、中心市街地への人の流れを創出 ◆積極的な「企業誘致」と「誘致企業」を強力にサポート ◆人や企業のチャレンジを支援し「若者にも魅力的なまち」を創出 ◆「八代・天草シーライン構想」と「物流拠点構想」の早期実現